

資料提供
(県政・南部同時)

提供日 : 令和元年 (2019年) 8月21日 (水)
部 局 : 琵琶湖環境部
所 属 : 滋賀県立琵琶湖博物館
担当者 : 桑原雅之・芳賀裕樹
電 話 : 077-568-4811
E-mail : info@biwahaku.jp



琵琶湖の宝石“ビワマス”に関わる7人のプロフェッショナルが集結!!

滋賀県立琵琶湖博物館 第27回企画展示関連シンポジウム

『ビワマスとその仲間たちをもっと身近に』を開催します

琵琶湖博物館では、9月14日(土)に第27回企画展示『海を忘れたサケービワマスの謎に迫るー』に関連したシンポジウム『ビワマスとその仲間たちをもっと身近に』を開催します。

このシンポジウムでは、ビワマスに関わる研究者、料理人、漁師が企画展示の内容を詳しく掘り下げるとともに、ビワマスとの未永い共存のために必要なことを会場の皆さんと一緒に考えます。参加無料のシンポジウムですので、ぜひともご参加ください。

記

琵琶湖博物館 第27回企画展示関連シンポジウム

『ビワマスとその仲間たちをもっと身近に』

(一般財団法人 全国科学博物館振興財団 助成事業)

日時 : 2019年9月14日(土) 13:00~16:40

場所 : 滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室

参加無料

定員 : 70名(要事前申込み)

申込方法 : しがネット受付もしくは往復はがきにて受付

〈しがネット受付〉下記のアドレスへアクセスしてお申込みください。

https://s-kantan.jp/pref-shiga-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=6870

〈往復はがき〉参加を希望する方全員のお名前を書いて、下記あてにお申込みください。

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 琵琶湖博物館シンポジウム係

締切 : 2019年9月11日(定員になり次第締め切らせていただきます)

以上

琵琶湖博物館 第27回企画展示関連シンポジウム 『ビワマスとその仲間たちをもっと身近に』

(一般財団法人 全国科学博物館振興財団 助成事業)

日時：2019年9月14日(土) 13:00～16:40

場所：滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室

講演プログラム

- 13:00～13:05 開会あいさつ
高橋啓一（琵琶湖博物館長）
- 13:05～13:30 サクラマスのDNAを調べる
山本祥一郎（中央水産研究所）
- 13:30～13:55 タイワンマスの不思議
郭金泉（台湾海洋大学）
- 13:55～14:20 琵琶湖水系にすむビワマスとアマゴ
桑原雅之（琵琶湖博物館）
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～14:50 ビワマスの美味しさ
杉本宏樹（湖香六根料理長）
- 14:50～15:10 ビワマスの漁業と増養殖の歴史
藤岡康弘（琵琶湖の森の生きもの研究会）
- 15:10～15:30 ビワマスとの新しい関係
鍋島直晶（西浅井漁協ビワマス漁師）
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:40 パネルディスカッション
「マスと私～末永い共存のために～」

◆ポスター講演

- 11:00 台湾の溪流魚への地球温暖化の影響ーチジワン溪での研究例
謝英宗（國立臺灣博物館）（通訳：郭金泉）

琵琶湖博物館 第27回企画展示
関連シンポジウム

一般財団法人 全国科学博物館振興財団 助成事業

海を忘れたサケ

-ビワマスの謎に迫る-

The salmon that forgot the sea
-the mysteries of the Biwa salmon-

2019年 9月14日(土)

13:00 ~ 16:40

【場所】滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室

参加無料・要事前申込み

ビワマスとその仲間たちをもっと身近に



申し込み方法 【定員】先着 70名

- しがネット受付 … QRコードからアクセスしてください
- 往復はがき … 参加を希望する方全員のお名前を書いて
下記あてにお申し込みください



〒525-0001 草津市下物町 1091 琵琶湖博物館シンポジウム係
締め切り：2019年9月11日(定員になり次第締め切らせていただきます)

琵琶湖博物館 第27回企画展示

海を忘れたサケ

-ビワマスの謎に迫る-

The salmon that forgot the sea
-the mysteries of the Biwa salmon-

2019年7月20日(土)~11月24日(日) 場所：企画展示室

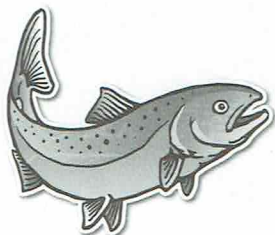
ビワマスとその仲間たちを もっと身近に

企画展示「海を忘れたサケ・ビワマスの謎に迫る-」では、琵琶湖固有の魚であるビワマスについて生態やユニークな進化の謎、ビワマスと人のつきあいを紹介しています。

本シンポジウムでは、ビワマスに関わる7人のプロフェッショナルが展示の内容を詳しく掘り下げるとともに、ビワマスとの未永い共存のために必要なことを会場の皆さんと一緒に考えます。

《 講演プログラム 》

- ・ 13:00 ~ 13:05 開会あいさつ
高橋啓一 (琵琶湖博物館長)
- ・ 13:05 ~ 13:30 サクラマスのDNAを調べる
山本祥一郎 (中央水産研究所)
- ・ 13:30 ~ 13:55 タイワンマスの不思議
郭金泉 (台湾海洋大学)
- ・ 13:55 ~ 14:20 琵琶湖水系にすむビワマスとアマゴ
桑原雅之 (琵琶湖博物館)
- ・ 14:20 ~ 14:30 休憩
- ・ 14:30 ~ 14:50 ビワマスの美味しさ
杉本宏樹 (湖香六根料理長)
- ・ 14:50 ~ 15:10 ビワマスの漁業と増養殖の歴史
藤岡康弘 (琵琶湖の森の生きもの研究会)
- ・ 15:10 ~ 15:30 ビワマスとの新しい関係
鍋島直晶 (西浅井漁協ビワマス漁師)
- ・ 15:30 ~ 15:45 休憩
- ・ 15:45 ~ 16:40 パネルディスカッション「マスと私~未永い共存のために~」
- ◆ポスター講演 (企画展示室)
11:00 台湾の溪流魚への地球温暖化の影響 - チジワン溪での研究例
謝英宗 (國立臺灣博物館) (通訳: 郭金泉)

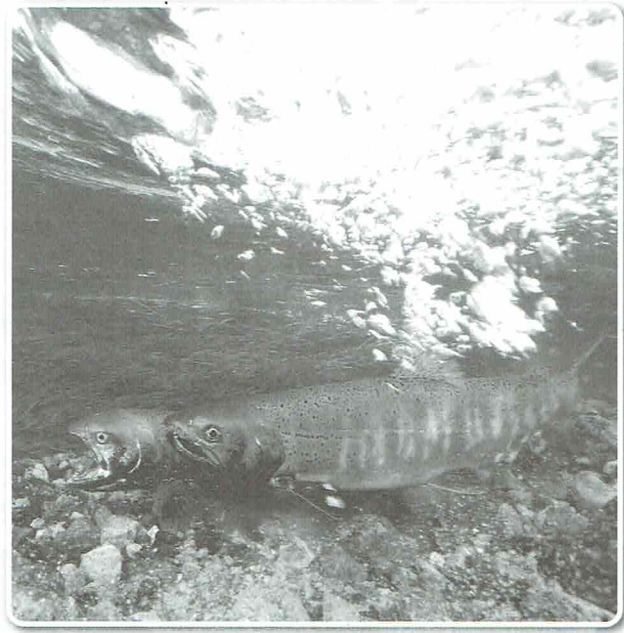


企画展示
「海を忘れたサケ
-ビワマスの謎に迫る-」は
2019年11月24日(日)
まで開催しています。

- 観覧料金 小・中学生 150円 (120円) * ()は20名以上の団体、団体会員、キャンパスメンバーズ、水槽サポーター料金
 高校・大学生 240円 (190円) * 常設展示観覧料金とは別途いただきます
 一般 300円 (240円)

9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30		
29	30																			

□ = 最終日 (11/24) ■ = 休館日
 休館日は原則として毎週月曜日と年末・年始です (ただし、月曜日が休日の場合は開館します)。その他、保守点検などのため随時休館することがあります。



■常設展示

琵琶湖のおいたち、人と琵琶湖の歴史、湖のいまと私たち~暮らしとつながる自然~、~水の生き物と暮らし~(水族展示)や屋外の展示のほか、五感を使って楽しく学べるディスカバリールームがあります。ブラックバス料理が味わえるレストランや、オリジナルグッズを数多くそろえたミュージアムショップもあります。

■開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

■常設展示観覧料金(企画展示は別料金)

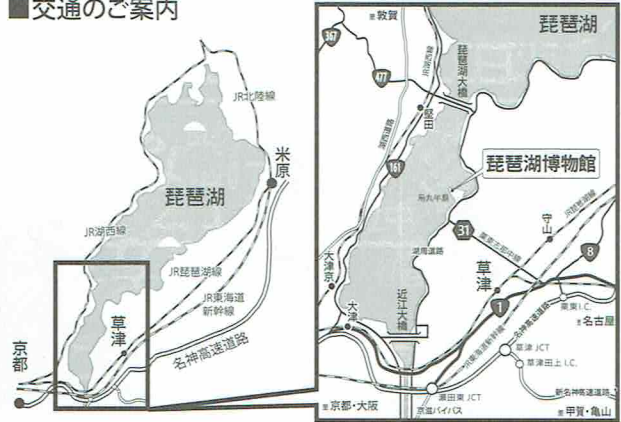
	個人	団体(20名以上)	年間観覧券
小・中学生	無料	無料	—
高・大学生	400円	320円	800円
大人	750円	600円	1,500円

*年間観覧券は購入後1年間、常設展示、企画展示を何回でもご覧いただけます(申込が必要です)。

*下記の方は観覧料が免除されます。

- 障害者の方(障害者手帳の提示が必要) ●県内に居住する65歳以上の方(証明となるものの提示が必要) ●県内の高校・特別支援学校の学校行事(減免申請書の提出が必要)

■交通のご案内



- バスでは、JR草津駅西口から近江鉄道バス「からすま半島」行きで「琵琶湖博物館前」下車、約25分。
【周辺施設】道の駅草津「グリーンプラザ」からすま半島水生植物公園みずの森
- タクシーでは、JR草津駅、守山駅から約20分。
- お車では、名神高速道路「栗東I.C.」から国道1号線~栗東志那中線~湖周道路~鳥丸半島へ(「栗東I.C.」から約25分「吹田I.C.」から約70分「京都南I.C.」から約50分)。

◆お問い合わせ

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 番地
 【TEL】 077-568-4811 (代表)
 【FAX】 077-568-4850

<https://www.biwahaku.jp/>